

## 学外研修報告

### - 平成 30 年度ガラス加工技術シンポジウムへの参加 -

工作部門 ガラス・木材加工技術班 氏名 横山 真也, 佐藤 勇, 藤原 雅志

#### 1. はじめに（目的等）

高度化する研究に応えるべく研究者への技術支援体制の向上のために必要になる，最新のガラス加工に関する知識及び技術を習得することを目的として，上記シンポジウムに参加して技術報告を聴講した。

#### 2. 期間・場所

開催期間：平成 30 年 9 月 13 日～平成 30 年 9 月 14 日（2 日間）

開催場所：ホテルメリージュ, グラスアート黒木

#### 3. 参加者等

技術職員：42 名

企業：6 名

#### 4. 研修内容

・特別講演

ガラスの反応管を用いた化合物半導体結晶成長と，光デバイス作成におけるガラス薄膜の使われ方

・技術報告

口頭発表及びポスター発表

・見学会

グラスアート黒木施設見学

## 5. まとめと感想

特別講演及び技術発表では、これまでの他大学での依頼や実習における成果や課題などについてまとめた発表やこれからのガラス加工技術の習得方法について考察した発表などがあった。これらの発表から各大学での職場環境等によってガラス加工依頼の内容が若干異なることが分かった。また、シンポジウムに参加されていた企業の方々がそれぞれの会社のガラス製品やガラス加工器具を出展されており、最新の製品や器具についての情報を得ることができた。

技術交流会では、他大学の職員の方々とガラス加工について話をすることができた。特に自分と年代の近い方や勤務年数が近い方にどのようにしてガラス加工技術を習得しているかなどの情報交換ができたことが良かった。

グラスアート黒木の工房見学では、吹きガラスの作業工程を実際に見ることができ、私たちが普段製作しているガラス実験器具の製作との違いを知ることができた。